



臨床検査技師
緒方 瑠菜

妊婦健診の尿検査では何が分かるの？

春の暖かさを感じる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。
今回は尿の検査についてお話しします。

妊婦健診の中に尿検査があります。何のために検査をしているかご存じですか？実はお母さんと赤ちゃんを守るために必要な検査なのです。

尿に含まれる糖やタンパクの数値を調べることで「妊娠高血圧症候群」や「妊娠糖尿病」など、胎児への影響も考えられる病気を発見できます。

尿はどうやって作られるの？

尿は腎臓で作られています。腎臓は血液をろ過してキレイにしてから血液を体内に戻しています。そのときに残された老廃物が尿となります。

尿を使ってどんな検査をしているの？

- ① 尿一般検査：糖やタンパク、ケトン体、潜血などが出ていないか調べる検査
 - ② 尿沈渣：膀胱炎の検査
 - ③ 尿中 HCG：妊娠しているかどうかの検査
 - ④ 尿 LH：排卵日を予測する検査
 - ⑤ 尿培養：尿中に細菌がいるかどうかの検査 など
- この中でも特に妊婦さんに関係のある検査①と②についてご紹介します。



尿一般検査

妊婦さんの場合、主に尿中に「タンパク」「糖」が出ていないかを検査しています。
妊娠中は赤ちゃんの分の血液もろ過してキレイにしているため、腎臓にとっても負担がかかり、尿中にタンパクが出やすいと言われています。もし、尿タンパクの検査で陽性となると、腎臓の働きに問題がある可能性があります。特に「妊娠高血圧症候群」にかかっている場合、尿タンパクの数値に異常が表れます。

また、尿糖の検査で陽性となると、「妊娠糖尿病」の可能性があります。「妊娠糖尿病」になると流産や早産のリスクが高くなるだけでなく、妊娠高血圧症候群や羊水過多症などの合併症にもつながります。

つわりの症状がひどい場合には、十分な食事ができず体の栄養が足りてない状態となります。すると体に貯めた脂肪を燃焼させてエネルギーにし、副産物としてケトン体の血中濃度が上がります。その結果、尿中にケトン体が出てきます。

尿沈渣

膀胱炎の検査です。尿を遠心分離機にかけて残った残渣物を顕微鏡で見ます。そして、尿中に赤血球や白血球、細菌がいるかどうかを目で見て検査しています。

排尿痛や残尿感などの症状がある方は医師にご相談ください。

妊娠高血圧症候群とは？

妊娠高血圧症候群とは、妊娠中に尿タンパクが出て、高血圧を伴うことを言います。これが原因となって、赤ちゃんの発育が悪くなったり（胎児発育不全）、胎盤が子宮の壁からはがれて赤ちゃんに酸素が届かなくなったりする（常位胎盤早期剥離）ことがあります。

このように妊娠高血圧症候群ではお母さんと赤ちゃん共に大変な状態になる場合もありますので、頭痛やむくみなど気になる症状がある場合は医師にご相談ください。

妊婦健診の採尿ってどうやってするの？

妊婦健診を受けられる患者様より「採尿方法がわからない」「採尿方法が難しい」といったご意見をいただくことがあります。次に採尿の流れについてご説明いたします。

まず採尿セットをご用意いただけます。

採尿セット

- ・健診時にもらったお名前バーコードシール
妊婦健診の回数分より多くお配りしています。
毎回の健診で使用いたしますのでなくさないように母子手帳にはさんで保管してください。
- ・ハルンキット(採尿容器)
毎回健診に来られた際に次回分(1袋)をお持ち帰りください。
場所：4 階の血圧・体重測定するコーナー



健診当日

ハルンキット(採尿容器)での採尿方法

- ①来院する直前にご自宅などで採尿する
ハルンキットの外側のフタを反対につけ、採尿口に尿を当てて採尿します。
※尿量が少ない場合は、1 階検査室(採血コーナー)にいる臨床検査技師にお伝えください。

(ハルンキットでの採尿が難しい方へ)

採尿コップに尿をとります。
ハルンキットのふたを開け、尿を移してふたを閉めます。
※採尿コップはハルンキットと同じ場所にあります。



- ②ハルンキットにお名前バーコードシールを貼る
採尿説明の時にもらったお名前バーコードシールはバーコードリーダーで読み込むため、バーコード部分がまっすぐになるように貼ります。(図1参照)

- ③ハルンキット用の袋に入れ持参する
ハルンキットのフタと袋はしっかりと閉めないで尿がこぼれてしまいますので、両方とも閉まっているか確認してから持参をお願いします。

- ④尿を提出する
受付後、1 階検査室(採血コーナー)入口にある尿提出用 BOX に提出します。
※ハルンキットの提出先は 1 ヶ所です。(図2参照)
※提出前にもう一度、お名前バーコードシールの貼り忘れがないか確認をお願いします。



妊婦健診中は毎回尿検査をします。採尿を手間を感じる方もいらっしゃると思いますが、お母さんの体の状態を知るために大切な検査となっています。ぜひ採尿のご協力をお願いいたします。採尿方法や検査内容についてご不明な点、ご心配なことがありましたら、1 階検査室(採血コーナー)の臨床検査技師にご相談ください。